

会議録(1)

会議の名称	平成28年度第3回飯能市障害福祉審議会
開催日時	平成29年3月23日(木) 開会 午後6時30分 閉会 午後8時00分
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館1階危機管理会議室
会長氏名	上野 容子
出席委員	上野 容子 角田 健一 大森 三起子 田中 正彦 桑山 和子 佐藤 智恵美 原 陽一 神山 秀昭 吉岡 かおる 加藤 久子 小島 崇幸
欠席委員	岡田 京子 坂本 美津子 齋藤 みどり 樽澤 久美子 双木 和宏
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局	健康福祉部長 坂本 実 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹 須田 あゆみ 障害者福祉課主任 佐賀 達郎 障害者福祉課主任 佐藤 正也
飯能市委託事業所	飯能市すこやか福祉相談センターさかえ町 徳永 龍介 飯能市すこやか福祉相談センターはちまん町 真鍋 さゆり 飯能市障害者就労支援センター 萩原 邦男 飯能市精神障害者地域活動支援センター 志村 栄子

会議録(2)

議事録の概要・決定事項

1 開会(午後6時30分)

障害者福祉課長

2 あいさつ

会長

3 議事

- (1) 第4次障害者計画・第5期障害福祉計画に係るアンケート調査結果について  
事務局からアンケート調査結果について説明した。

4 報告

- (1) 障害者支援協議会の協議結果について

事務局から障害者支援協議会及びワーキンググループの協議結果について報告があった。

- (2) 平成29年度新規事業について

事務局から平成29年度開始予定の新規事業について報告があった。

5 その他

特になし。

6 閉会(午後8時00分)

備考

## 会議録（3）

発言者	発言内容
障害者福祉課長	<p>それでは、議事に入らせていただきます。 規定にしたがいまして、会長に議長となっていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。それでは、次第の3議事に入ります。 はじめに、「(1) 第4次障害者計画・第5期障害福祉計画に係るアンケート調査結果について」を議題といたします。 それでは、事務局の説明をお願いします。</p>
障害者福祉課主幹	<p>(資料1について説明)</p>
会長	<p>説明は以上です。これからの計画に反映する大切な内容ですので、全員の皆様からご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>平成23年度に策定した現行計画に添い、施策を進行していることと思いますが、アンケートの内容で、前回の調査と同じような質問の箇所があります。例えば、支援している家族の高齢化や、災害に係る質問では、前回のアンケート結果に比べ、どのような変化があったのか伺います。また、それらを踏まえて、今後の施策にどのように反映されていくのかについても教えていただけますか。</p>
障害者福祉課長	<p>まず、支援している家族については、「父母」が高い割合を示しております。そして、その年代については、前回のアンケート結果と比べましたところ、概ね同じような傾向となっております。ただ、60歳代から70歳代が多いので、高齢化が進んでいると捉えております。 また、災害に関しては、「災害時における障害者への支援」を求める回答が高い伸び率となりました。このため、災害時の不安を持っていらっしゃる方が多いことが分かりました。 そのほかは、「障害者に対する理解を深める啓発や広報の充実」や、「働く機会の充実」を求める回答の伸びが大きくなっており</p>

委員	<p>ますので、防災対策や、就労促進、意識啓発などに係る施策を今後の計画に盛り込み、取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>今年の1月にピアサポートグループみなくる倶楽部で精神障害者へのアンケートを実施しました。その中では、福祉サービスについて、「制度が分からない」、「専門用語が分からない」、「どこに相談してよいか分からない」などの回答が非常に多く、相談体制の充実と制度の周知が大事であると思いました。</p> <p>また、18歳以上の市民調査において、障害者に関するさまざまな場面の想定では、精神障害者に対して不安があるという回答が高くなっています。理由は不明ですが、相模原市のやまゆり園での事件が影響しているような気もいたします。</p> <p>特に、家の隣にグループホームが建設された場合に「少し不安がある」、「不安がある」という回答が、精神障害者では6割以上ありました。また、同じ職場で仕事をする場合に「まったく不安はない」という回答が精神障害者では1割しかありませんでした。</p> <p>このような結果から、例えば統合失調症はどのような病気なのか、耳が聞こえないとどのような生活のしづらさがあるのかなど、具体的に広報や啓発を行っていく必要があると思います。</p> <p>そして、災害時に際しての支援、親亡き後の問題、障害者の就労支援の3点が重要だと思いました。</p>
委員	<p>アンケートの最後に自由記述欄がありますが、どのような内容が書かれていたか、代表的なものを教えていただけますか。</p>
障害者福祉課長	<p>障害福祉サービスが少ない、交通手段が足りないなど、アンケート調査で回答したような意見も多かったと思いますが、自由記述の内容は多岐にわたりますので、後日、まとめましてお配りいたします。</p>
委員	<p>具体的な記述は、アンケートで選択した回答以上に、強い思いが含まれている大事な内容だと思いますので、そうしていただければありがたいです。</p>
会長	<p>事務局からの回答は、後ほど総括していただくことにして、委員の皆様からご意見を続けてお願いします。</p>
委員	<p>前回の審議会での意見を真摯に受け止め、アンケート調査票の文言を分かりやすく変えていただき、ありがとうございました。</p>

委員	<p>調査結果をもとに、飯能市がどのようにニュー福祉を進めていくかを反映させていただきたいと思います。</p> <p>また、相談支援事業所や関係機関の認知が足りていないという結果が出ていましたので、全戸配布の広報誌を充実させるなど、情報発信も強化していただけるとありがたいです。</p> <p>精神障害者の就労が進んでいないと感じました。201人中、働いているのが62人なのは残念な数字です。</p> <p>今の障害者雇用の制度は、精神障害の方を受け入れやすい状態ではないと思いますので、精神障害の方が働きやすくなる取り組みを増やしていただきたいです。</p>
委員	<p>「あなたは、どこで生活していますか」という質問は、1つを選ぶ単数回答式でしたが、平日はグループホームで、週末は家族と過ごす方もいます。今後、アンケートを行う場合には、複数選べるようにしていただけるとよいと思います。</p>
委員	<p>精神障害の場合は、通院者だけではなく、入院されている方にも意見をお聞きしていただけるとよいと思います。</p> <p>また、飯能市は山間部が多いので、交通手段の問題についても、取り組んでいただければありがたいです。</p>
委員	<p>私が後見人を受任している方にも、アンケートが届きました。その方は、高齢で認知症もあり、仕事ができるような状況ではない方です。</p> <p>働いている割合が少ない結果については、そのような方の回答も含まれていると思いました。</p>
委員	<p>精神障害者の家族会では、交通費半額を認めていただく運動を国に対して行っていますが、飯能市にも考えていただきたいと思います。</p> <p>また、精神障害のある方では「働くことを希望する人に、必要な訓練を行うサービス」を利用したいという回答が高くなっています。精神障害のある方は、訓練を嫌う印象がありましたので、この結果は意外でした。</p> <p>それから、選択肢として、就労継続支援と就労移行支援を区別していただいた方がよかったですと感じました。</p>
委員	<p>耳の聞こえない方にもアンケートを配ったとのことですが、聴覚障害者の回答率は低かったのではないのでしょうか。</p>

<p>障害者福祉課長</p>	<p>高齢の聴覚障害者の方の中には、文章が読めない方や、読めても理解できない方も多いと思います。</p> <p>沢山の方からご意見をいただきまして、ありがとうございました。ご意見については、まとめたの回答をさせていただきます。</p> <p>まず、アンケートの回答率についてです。聴覚障害者も含めた身体障害者全体の回答率は65.3%でしたが、ご質問の聴覚障害者の方のみの回答率については、把握しておりません。聴覚障害の方への配慮も念頭に置き、計画を策定してまいりたいと考えております。</p> <p>次に、委員の皆様から、精神障害の方に対するご意見が多くありました。精神障害の方だけではありませんが、誰もがいきいきと働くための支援が必要と考えております。</p> <p>次に、広報や周知についてのご意見もありました。障害者福祉についての認知度が低く、全体として周知が足りていないと感じております。障害のある方と接することに不安があるのは、障害についてよく知らないことも要因と思いますので、周知の充実についても計画に掲げていきたいと考えています。</p> <p>それから、身体障害の方では、道路や交通機関の整備などの要望が高かったので、バリアフリーについての施策も必要であると考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>前回のアンケート結果と今回の結果を比べて、変化した部分を踏まえながら、計画に生かしていただけたらよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>就労継続支援B型事業所で働いている方には、満足度の高い方もいらっしゃると思いますので、そのような方にも意見を聞いていただけるとよいと思います。</p>
<p>障害者福祉課長</p>	<p>来年度には、関係団体や事業所等にもヒアリングによりご意見を伺いたいと考えておりますので、その際はご協力をお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見やご質疑はございますか。</p> <p>(なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ないようですので、次第の4報告の「(1) 障害者支援協議会の協議結果について」に入ります。事務局の説明をお願いします。</p>

障害者福祉課 主任	(資料2について説明)
会長	説明は以上です。皆様からご意見やご質問はございますか。
委員	<p>相談に関してですが、相談支援事業所の認知度が低いので、周知が必要と感じました。また、ケアマネージャーのスキルアップも必要と思います。</p> <p>それから、就労に関してですが、幕張式ワークサンプルをどのくらいの方が利用されたかなど状況を教えていただけますか。</p>
障害者就労支 援センター	<p>幕張式ワークサンプルは、平成28年の秋から稼動しており、現在までに10名ほどの方が利用されました。</p> <p>これからも多くの方にご利用いただけるよう、継続して実施してまいりたいと考えております。</p>
会長	障害者の就労についてですが、市役所から障害者の方へ仕事を提供することは行っていますか。
障害者福祉課 長	市役所の中での職場体験等については行っておりません。課題として検討していきたいと考えております。
会長	<p>武蔵野市では、障害者就労支援センターに3障害の各事業所から派遣をしてもらい、プロポーザル方式で進めています。</p> <p>障害者にしていただく仕事が無いのであれば作っていかねければなりません。仕事を作ることに大きな意味があると思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質疑はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	ないようですので、次の「(2)平成29年度新規事業について」に入ります。事務局の説明をお願いします。
障害者福祉課 主幹	(資料3について説明)
会長	説明は以上です。皆様からご意見やご質問はございますか。
委員	遠隔手話のコールセンターは、混雑してなかなか繋がらないと

<p>障害者福祉課 長</p>	<p>いう状況にはなりませんか。  また、タブレット端末の配置場所は、「障害者福祉課、市民課など」とありますが、高齢の方が利用される窓口での配置予定はあるのでしょうか。  それから、事業経費が約570万円となっていますが、これはランニングコストとして毎年かかるのですか。</p> <p>遠隔手話のコールセンターについては、実際に何度か電話をかけてみましたが、繋がらないことはありませんでしたので、繋がりにくい状況はないと考えております。  また、タブレット端末は移動可能ですので、高齢者の方が来られた時には、障害者福祉課のタブレット端末を持ち歩き、介護福祉課で利用可能と考えています。  それから、事業経費のランニングコストは、毎年500万円弱と見込んでおります。  本市のような遠隔手話と代理電話を委託する事業は、市町村では全国初の導入になると聞いております。ぜひ、当事者の方にご意見を伺いながら、皆様が利用しやすい事業となるよう進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見やご質疑はございますか。</p> <p>(なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ないようですので、5その他で何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ないようですので、本日の協議事項は、以上で終了します。これをもちまして、議長の座を降ろさせていただきます。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>

議事のとん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

---